

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】令和4年2月24日(2022.2.24)

【公開番号】特開2020-172407(P2020-172407A)

【公開日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2020-043

【出願番号】特願2019-75036(P2019-75036)

【国際特許分類】

C 01 G 41/00(2006.01)

10

C 01 G 41/02(2006.01)

C 08 L 69/00(2006.01)

C 08 K 3/22(2006.01)

C 08 K 5/25(2006.01)

C 08 L 101/00(2006.01)

【F I】

C 01 G 41/00 A

C 01 G 41/02

C 08 L 69/00

C 08 K 3/22

20

C 08 K 5/25

C 08 L 101/00

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月15日(2022.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0031】

添加されるM元素の添加量xは、x/yの値において0.001以上1以下が好ましく、さらには、六方晶の結晶構造から理論的に算出されるx/yの値0.33付近が好ましい。

一方、酸素の存在量Zは、z/yの値で2.0以上3.0以下が好ましい。典型的な例としてはCs0.33WO3、Rb0.33WO3、K0.33WO3、Ba0.33WO3、Cs0.03Rb0.30WO3等を挙げることが出来る。尤も、x、y、zの値が上述の範囲に収まるものであれば、有用な電磁波吸収特性を得ることができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

【実施例8】

IRGANOX1010の代わりに、リン系酸化防止剤として構造式(6)に示すアデカスタブ2112(登録商標)(株式会社ADEKA製)を150重量部用いた以外は、実施例7と同様にして、実施例8に係る分散液と赤外線吸収シートとを得た。

得られた実施例8に係る分散液中の吸収微粒子の結晶子径と、赤外線吸収シートの光学特性とを、実施例1と同様に測定、評価した。当該実施例8に係る製造条件と評価結果とを

50

、表1に記載する。

この結果より、実施例8に係る赤外線吸収シートは120という高温下においても、優れた熱線遮蔽特性を安定的に発揮することが判明した。

10

20

30

40

50